

第3回第六次大野市総合計画後期基本計画策定幹事会

日時：4月23日（水）午後7時～8時30分

場所：結とぴあ305・306

◆出席者 後期基本計画策定幹事会委員 48名（欠席者5名）
加藤行政経営部長、小林政策推進課長、
政策推進課員（廣作、廣瀬、眞柄、松下、雨山）

◆次 第

1 開会（岡崎幹事長）

本日はご多用の中、会議にご参集いただき、誠に感謝申し上げます。本日の会議は、まず事務局より、後期基本計画の策定に向けた体制及びスケジュールに関する報告がある。議事として、後期基本計画に掲げる施策の進捗を管理するための指標の設定方針案、皆様からのご意見を賜りたく、ご協議いただきたいと考えている。事務局としても十分に検討しきれていない部分もあり、ぜひ皆様のご協議をお願いしたい。

その後、専門部会のグループに分かれ、取りまとめられた「あるべき姿・目標」あるいは「施策の方向性」について、各委員よりご意見を頂戴し、ブラッシュアップを図りたいと考えている。忌憚のないご意見を願います。

ー委員の交代及び事務局の変更のお知らせー

2 報告事項

（1）後期基本計画の策定に向けた進捗報告等について

概 要： 資料1，2に基づき事務局説明

10月末にはパブリックコメントにかける後期基本計画案を作成、1月に策定予定。これからの半年間が特に重要な議論の期間。

質 疑： 意見無し

3 議事

（1）後期基本計画の指標設定の方針（案）について

概 要： 資料3に基づき事務局説明

質 疑：

岡崎幹事長 マトリクスの評価について、「活動指標」はs評価ながらKPI・アウトカム指標はD評価の場合（Ds）、どのように評価されるのか。

事務局 KPI・アウトカム指標の結果が出ない要因としては、外部要因による影響の可能性があり、評価する際に適切に見極める必要がある。指標を設定する

際に外部要因の影響を考慮しておくことも必要。また、そもそも頑張る方向性が間違っていたという可能性もあり、それがDs評価になると考える。

岡崎幹事長 マトリクスを見ていると、以前にドイツの将軍が仰られた「有能な怠け者」「無能な働き者」といった4つの分類(※)を連想させる。KPIの結果が伴わない場合、無能な働き者といった印象を持たれかねないので、結果が伴わない場合に、扱い・対処をあらかじめ想定しておく必要があるのではないか。

※「ゼークトの組織論」とは、組織内の人材を4つのタイプに分類し、どのような役割を与えると能力に応じた活躍ができるかを示した理論。

人材を「利口・愚鈍」と「勤勉・怠慢」の切り口でかけ合わせ、有能な怠け者(利口・怠慢)／有能な働き者(利口・勤勉)／無能な怠け者(愚鈍・怠慢)／無能な働き者(愚鈍・勤勉)の4つのタイプに分類。無能な働き者が組織に悪影響を及ぼすと指摘。

委員 活動指標の導入に違和感を覚えている。部課長が自部門の活動を評価するとなると、正直な評価ができるのか懐疑的である。がんばりの自己申告が評価になることに違和感がある。最終的にはKPI・アウトカム指標の結果で評価すべきではないか。活動指標の導入を検討する経緯は。

事務局 資料3の2つ目のポツにあるように、活動指標導入の背景としては、前期基本計画で目標未達だった項目に対して、推進会議の委員から、結果は出していないもののがんばっているという声をいただき、がんばりをどう評価するとよいかが課題であった。そこで、縦軸として活動評価を加える案を提示した。

岡崎幹事長 KPIなどの達成状況を可視化するのは当然として、その背景にある活動の程度を評価することにも一定の意味がある。ただし、最終的には結果が伴わないと意味がないという視点も重要。活動指標がどのように活用されるかによって、その意義も変わるだろう。

竹田副幹事長 このマトリクスの評価の使い方について確認したい。例えば、活動指標(縦軸)と成果指標(横軸)の関係において、どのように時系列で結果が示せるのか。たとえば2ヶ月後、4ヶ月後、あるいは最終的な結果だけなのか、中間的な評価は可能か。

事務局 資料3の③「単年量と累計量の整理」にあるように、単年量で設定する方針であり、2ヶ月単位などの経過観察ではなく、1年ごとに評価値を確認する。なお、前期基本計画では、単年量と累計量が混在している。

岡崎幹事長 マトリクスが有効な面はあるものの、複雑になり過ぎないように注意する必要がある。

委員 KPI・アウトカム指標に加えて活動指標を設けることは、指標の設定作業が非常に煩雑になる懸念がある。いろいろな事業について、施策の努力を定量化する指標を設定することは難しいのではないかと考える。

委員 各項目のあるべき姿・目標に関わる到達度としてのKPI・アウトカム指標の

評価と、施策がどの程度なされたのかという活動量の2つの分け方、考え方になるのではないか。目標達成に向けては、具体的な施策の使用がそもそも必要になり、プロセス（施策）に対する評価を行われなければ次に繋がらない。

施策を行えば必ず目標に到達できるとは言いきれない施策が数多くあるならば、施策は施策としてがんばりを評価（活動指標）し、目標に対しては、客観的な数字で評価（KPI・アウトカム指標）するという、それぞれ別の軸で評価することは意味があると感じる。

岡崎幹事長 本方針案については、最終的に幹事会として採決し、指標設定に向けた作業を進めてよいかの決定が求められている。議長として、方針案で進めて良いか採決を行う、又は、もう少し審議が必要という意見があればお願いしたい。

皆様からのご意見を一通りいただいたと判断するため採決に移らせていただく。この方針案について、承認いただける方は挙手をお願いします。

結 果： 出席者46名中、賛成25名（賛成が過半数を満たす）

岡崎幹事長 それでは、本指標設定方針案は承認されたものとし、方針に基づき指標設定作業を進める。

（2）後期基本計画の「あるべき姿（目標）」と「施策の方向性」の（素案）について

概 要： 資料3に基づき事務局説明

専門部会ごとの意見交換の進め方については、今回、市が整理した「あるべき姿・目標」「施策の方向性」の素案を提示しているものの、この素案に縛られず委員各位のお立場から、「令和12年度末の望ましいまちの姿」や「次の5年間で取り組むべきこと」に対してご意見を伺いたい。

各項目に対して、「目標」と「施策」を分けて意見をいただきたく、目標：ピンクの付箋、施策：緑の付箋に記載。20時20分までグループワークを進め、終わらなかった場合は、5月の専門部会で続きを行う。

専門部会毎の3つのグループに分かれて意見交換を実施（約30分）

岡崎幹事長 全体を通して共有すべき意見や補足の発言があればお願いしたい。

事務局 本日は時間が足りなかったため、5月の専門部会では、今回の続きから意見交換を行う。本日いただいた付箋、意見を取り入れさせていただき、計画案にしていきたい。また、専門部会の日程調整シートは、今日のうちに記入できる方は記入し、退室時に机の上に置いてほしい。難しい場合は、今週中にお返事いただけると助かる。

事務局 先ほどご承認いただいた「指標設定の方針案」について、今後、指標設定の仕方や評価の方法など事務局で詰めさせていただき、幹事長・副幹事長に相談し、進め方などを専門部会に報告しながら、成果指標を設定していきたいと思うので、よろしくをお願いしたい。

閉会（竹田副幹事長）

年度初めのお忙しい夜に、お集まりをいただき感謝申し上げます。本日のタイトなスケジュールということもあり、思っていることをうまく言えなかった方もいらっしゃると思う、これで終わりではない。本日の指標を持ち帰っていただき、周りの方とも相談しながら、令和12年度の大野がどうあるべきかというところを、小さな夢から皆さんが語っていただいて、実際にできる目標は何か、施策は何かというところを反映できると、計画が良いものになると思う。

気温が急に高くなっている。本計画にも「熱中症対策」の取組が記載されているが、皆様自身も体調に気をつけ、水分補給を忘れずに健康な日々を送っていただきたい。

◆会議資料

次第

第六次大野市総合計画後期基本計画策定幹事会委員名簿

第六次大野市総合計画後期基本計画・第3期大野市総合戦略策定WG委員名簿

資料1：後期基本計画等の策定体制

資料2：後期基本計画等策定スケジュール

資料3：後期基本計画の指標設定の方針案

資料4：「あるべき姿（目標）」と「施策の方向性」素案

参考資料1、2